

御殿場市救急センター

昨日東名高速で火災事故があり救急センターの当直医の到着が遅れたため、急きょピンチヒッターとして深夜に仕事をしてきました。こうした突発的な事故ばかりでなく、行楽シーズンの東名高速の渋滞などでも派遣当直医が遅れることがあり、管理者としては油断ができません。こういう時、体力が勝負の仕事だとつくづく感じます。

さて来年から働き方改革が行われることになり、勤務医の当直が制限され、救急センターの業務に支障がでることが危惧されています。なんとか大学からの当直の先生の派遣を今まで通りにしてもらおうように手配しているところですが、実際、来年度になってみないとわからないというのが現状です。諸先生方もいざという時のために呼び出されるとも限りません。体力を温存して頂きたいと思います。

季節外れの暖かさと雨の影響で、インフルエンザの広がりも少し鈍ってきたように感じます。市町の特定健診が10月で終了し少し肩の荷が下りたものの、その代わり、インフルワクチンを打ちに来る人々が11月に入って本格化しています。コロナワクチン接種も並行して行われており、各医療機関は大変な日々を送っていると思います。年末年始には感染症外来を救急センターでは行う予定になっています。今年も当直に協力して頂ける先生には感謝の言葉しかありません。よろしくお願ひします。

